

## 平成22年度徳島県教育行政点検・評価委員会報告

- 1 開催日時 平成22年8月16日(月) 15:00~16:30
- 2 場所 県庁9階 教育委員室
- 3 出席者  
【委員】5名中5名出席  
粟飯原一平委員、桑原恵委員、坂田千代子委員、中村昌宏委員、  
美馬育子委員  
【県】福家教育長、小谷副教育長、吉田教育次長、高橋教育次長ほか
- 4 教育委員会の点検・評価(案)について  
委員からいただいた意見等の概要については次のとおりです。

(1) 全般的なご意見

- 全般的に、やはり徳島らしい教育というのを、是非何かに付けお願いしたいと思う。例えば、阿波踊り体操を県内の小中高の体育祭等に積極的に取り入れるなど、何かに付け、全国同じというのではなく、徳島らしいものをつくると面白い話題になると思う。
- 評価とか比較というのは3つの方法があると思う。目標を掲げて、その達成で状況を見る方法、もう一つは時系列でどれだけ増えているかをみる方法、もう一つ欠かせない視点というのは、他者比較ということ。達成率が100%だが、他の府県と比べて果たして素晴らしい状況であるのかという視点もいると思う。
- 数値だけにとらわれるのではなく、教育振興計画の冒頭にあるように、「郷土に誇りを持ち、社会の一員として自立した、たくましい人づくり」ということを基本目標として、現場の先生方には、この計画の精神を体現し、教育にあたっていただき、成果を出していてもらいたいと思う。

(2) 各事業ごとに全般的なご意見

## 【基本方針1 社会全体で取り組む教育の実現】

- 社会全体で取り組む教育の実現のなかで、支援者養成の講座を展開しているが、受講した人たちが、地域の学校とつながっていくとともに、学んだことが、地域社会全体の中で取り組んでいく教育という形で活かされていくことが大切だと思う。

【2番「子どもの読書活動の推進に関するイベント参加者数」】

- 子どもの読書活動の推進は随分進んでおり、読書に参加する人が多いということはいいことだと思うが、読む本の質も高めることも重要である。

【3番「地域教育力再生コーディネーター養成講座受講者数」、  
5番「放課後子ども教室」実施数】

- 放課後子どもプランがなかなか進まないのは、ボランティアの確保や予算面の問題があるかのかもしれないが、放課後子ども教室と学童クラブがうまくつながれば、すごくいいものになるだろうと思う。

【19番「伝統文化を尊重する教育実践研究指定校」】

- 伝統文化を尊重するというのは、徳島のことを理解し、徳島のが好きな子どもが育まれるということで、非常に重要なことだと考える。

【43番 オンリーワンハイスクールの育成】

- この活動は、子どもたちが地域の魅力を知り、将来徳島に貢献する人材の育成につながる素晴らしいものだが、ほとんどが専門高校となっている。進学校の子ほど、徳島から出て行き帰ってこない可能性が高いため、このオンリーワンハイスクールの育成をもっと進学校にも取り入れていただきたい。

【49番 教職員の資質の向上】

- 初任者研修など研修をたくさんされており、とても成果があるようだが、小中高の先生が、博物館に行けばどんなことを学ぶことができ、どのようにそれを学校教育に活かせるかということについて、お互い情報交換をするような場を、この研修のどこかに入れられないかと思う。
- 研修で本当に先生方に身につけて欲しいのは、自分たちが勤務している学校の地域社会に出て行くということ。初任者研修のなかで、例えば週1回でもいろいろなボランティアに参加してみるというような課題があれば、先生方も外へ出て行くのではないか。実際に地域で教育をお互いが分かち合う、こんなことが展開されたらいいと思う。